

条例・予算の内容を審議しました

御来屋漁港工事請負契約

問 (池田満正議員)

管理監督業務を委託している。職員の養成は考えないか。金額は。

答 (池本義親農林水産課長)

海岸工事は特殊な工事であり、高度な技術を要するため、財団法人水産土木建設技術センターに委託した。土木関係には数名の技術者がいる。金額は520万円位。

町長の退職金、給与

問 (諸遊壊司議員)

選挙公約では退職金はいらなと言っていた。

答 (森田増範町長)

県の退職員組合の条例に定められてあり、町での改正是むずかしい。退職金の減額に準ずる考え方として報酬の減額をしたい。

問 (米本隆記議員)

町長報酬を10%減じた場合、4年間の額は。

答 (田中豊総務課長)

4年間で約480万円、ボーナスのカットもあり若干違ってくる。

障害者通所通院費助成条例

問 (野口昌作議員)

自家用車の場合、公共交通機関に準ずるのではなく、自家用車の料金を定めた方がよいのでは。

答 (戸野隆弘保健福祉課長)

たくさんある医療機関や作業所を、それぞれ自宅からの距離で計算するのは難しい。

問 (近藤大介議員)

町外の同じ施設等に通う場合、近くにバス路線がある人より、より遠い奥部から車で来る人の方がもらう交通費が少なくなるという逆転現象はないか。

答 (戸野福祉保健課長)

指摘のような不合理も起こりえると思うが、定期的に公共交通機関を利用して通う人を支援すべきと考えている。

問 (大森正治議員)

町内における自家用車利用の場合は助成しないということは、町の負担がどれくらい軽くなるか。

答 (森田町長)

改正の趣旨は、町内の通所等も助成の対象に広げるということである。

一般会計補正予算 第一号

問 (野口昌作議員)

バイオディーゼル燃料精製装置の購入は。

答 (小西広子住民生活課長)

CO₂削減対策として実績のある所に委託する。巡回バス等に使用したい。

問 (野口俊明議員)

町営住宅建設工事の内訳は。

答 (押村彰文建設課長)

若者定住対策である。ナスパルタウンに建設。2階建てで1階に4戸、2階に4戸の長屋方式である。

問 (西山富三郎議員)

赤松分校は公有財産である。管理等については、町長と教育委員会が十分に協議をし進めているか。

答 (森田町長)

協議を密にして執行する。(山根浩教育長) 趣旨、法令などを十分にふまえて対応していく。

問 (岡田聡議員)

地域活性化交付金等により51事業、11億円の補正がある。農業振興対策がもれていないか。

答 (森田町長)

農道整備関係と耕作放棄地、遊休農地対策に取り組んでいる。

問 (岡田議員)

街なみ協議会活動補助金620万円の内訳は。

答 (福留弘明大山振興課長)

活動費は20万円、集計事業が600万円である。旅館や商店を統一した町の景観にするために改修する際、町と国が補助金を交付するものであ

る。今年度は3件の予定。上限は300万円の2/3である。

問 (西尾寿博議員)

子ども読書の街づくりに取り組んでいる。成果は。

答 (狩野実教育次長)

全国で10地域の中に本町も選ばれたものである。幼児期から義務教育まで一貫して読書環境を整える取り組みが評価されたものと思う。司書の配置、小中学校及び保育所の図書費等の充実が進んでいる。ソフト面、ハード面ともに進めていく。

問 (西尾議員)

弁護士謝礼金を計上している。内訳は。

答 (近藤照秋人権推進課長)

本町の囑託職員の発言は、町民の一人に対して、社会的信用や名誉を傷つけるものであり、町長の使用者責任を問うとして損害賠償を求められてい